

神戸市感染症発生動向調査週報

平成27年8月26日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所

第34週 2015年 8月 17日 ~

2015年 8月 23日

設置定点数 48 ケ所

インフルエンザ

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～
インフルエンザ		1								1													1							

報告定点数 31 ケ所

設置定点数 31 ケ所

小児科

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～						
RSウイルス感染症									2	2			2																	
咽頭結膜熱							1	1		2		1	1																	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5		2			1		4	12	24			1	4	1	3	1	3	2	4	1	1								3
感染性胃腸炎	3		10	2	4	7	14	65	7	112	1	9	18	14	14	8	4	4	5	6	3	13	1							12
水痘		1	4	1	1			2	3	12		2	1	2	1	1	4			1										
手足口病	7	8	12	3	12	6	23	50	16	137	3	11	44	34	14	9	8	4	1	2	1	3								3
伝染性紅斑	2				2			1	6	11						2	1	2	2			3								1
突発性発疹	1	1				1	4	6	5	18		5	11	1	1															
百日咳																														
ヘルパンギーナ				2	3		15	12	12	44		9	12	9	4	2	3	1		1		3								
流行性耳下腺炎					2			1	3	6							1		4			1								

神戸市ではデング熱の届出が今年3例ありますが、全例流行地（タイ、ミャンマー、フィリピン）からの帰国者です。デング熱は人から人に直接感染しません。デング熱に感染した人の血を吸った蚊が、他の人の血を吸うことで感染を広げます。主症状は突然の発熱、頭痛、急激な血小板減少、白血球減少などです。神戸市の市中感染はありませんが念のため、水たまり等の蚊の発生源を減らすことや、肌の露出を少なくし、蚊取り線香や虫除けスプレーを使用する、網戸をしっかりとしめるなど、蚊にさされないようにすることが大切です。東南アジア等の流行地から帰国して上記の症状が見られれば医療機関を受診してください。

報告定点数 10 ケ所

設置定点数 10 ケ所

眼科

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～	
急性出血性結膜炎									1	1																			1	
流行性角結膜炎			3			1			2	6			1							1					2			2		

(定点機関から報告されたその他の感染症情報)

北 区○アデノウイルス感染症3例:0～4歳男(6505)
 北 区○マイコプラズマ感染症5例:0～4歳男女、5～9歳男(6505)
 垂水区○細菌性腸炎1例(病原性大腸菌)性別・年齢不詳(6804)
 西 区○マイコプラズマ感染症4例:5～9歳女、10代男女(6905)

【結核に関する情報】 今週の結核届出患者数は16人(うち潜在性結核感染症5人)です。

【市内の感染症の状況】

今週の手足口病の定点あたりの患者数は、4.42人(先週:2.87)で、警報レベル開始基準値(5人)を下回っていますが、医療機関の夏季休診により報告が少なかったことが影響しています。引き続き今後の動向に注意が必要です。

【感染症発生動向調査事業実施要綱】

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/health/infection/trend/img/youkou110729.pdf>

※病原体サーベイランスとは、流行する感染症の病原体を詳しく調べて、その特徴や流行状況を監視するシステムです。解析結果は、「神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況」をご覧ください。

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

神戸市 発生動向 [検索]

または、神戸市ホームページ上段のバナーを以下のとおりたどってください。

(トップページ > くらし・手続き > 健康・医療 > 感染症・予防接種 > 感染症発生動向)

神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2015年8月26日 作成

全数把握対象感染症発生状況 (三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	菌種	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	20代	2015年8月13日	2015年8月15日	2015年8月24日	O145 (VT2)	便培養法	腹痛、胃痛 水様性下痢	不詳	

全数把握対象感染症発生状況 (四類感染症 A型肝炎)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	50代	2015年8月11日	2015年8月18日	2015年8月25日	/	血清IgM抗体の検出	全身倦怠感、発熱、食欲不振、黄疸、肝機能異常	経口感染	

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 アメーバ赤痢)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	40代	2015年3月頃	2015年5月15日	2015年8月3日	腸管アメーバ症	鏡検による病原体の検出 (大腸粘膜組織)	下痢、粘血便、しぶり腹	異性間性的接触	

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	80代	2015年8月17日	2015年8月18日	2015年8月24日	/	膿からの培養	腹膜炎	その他 (虫垂穿孔)	

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	50代	2015年8月4日	2015年8月4日	2015年8月7日	/	分離・同定による病原体の検出 (創部からの培養)	ショック、腎不全、軟部組織炎	創傷感染	

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 梅毒)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	30代	不詳	2015年8月12日	2015年8月12日	早期顕症梅毒 I 期	RPRカードテスト TPHA法	硬性下疳	異性間性的接触	
男	40代	2015年8月11日	2015年8月18日	2015年8月18日	早期顕症梅毒 I 期	RPRカードテスト TPHA法	扁平コンジローマ	異性間性的接触	
男	60代	/	2015年8月20日	2015年8月24日	無症候性キャリア	自動化法、TPHA法	/	不詳	

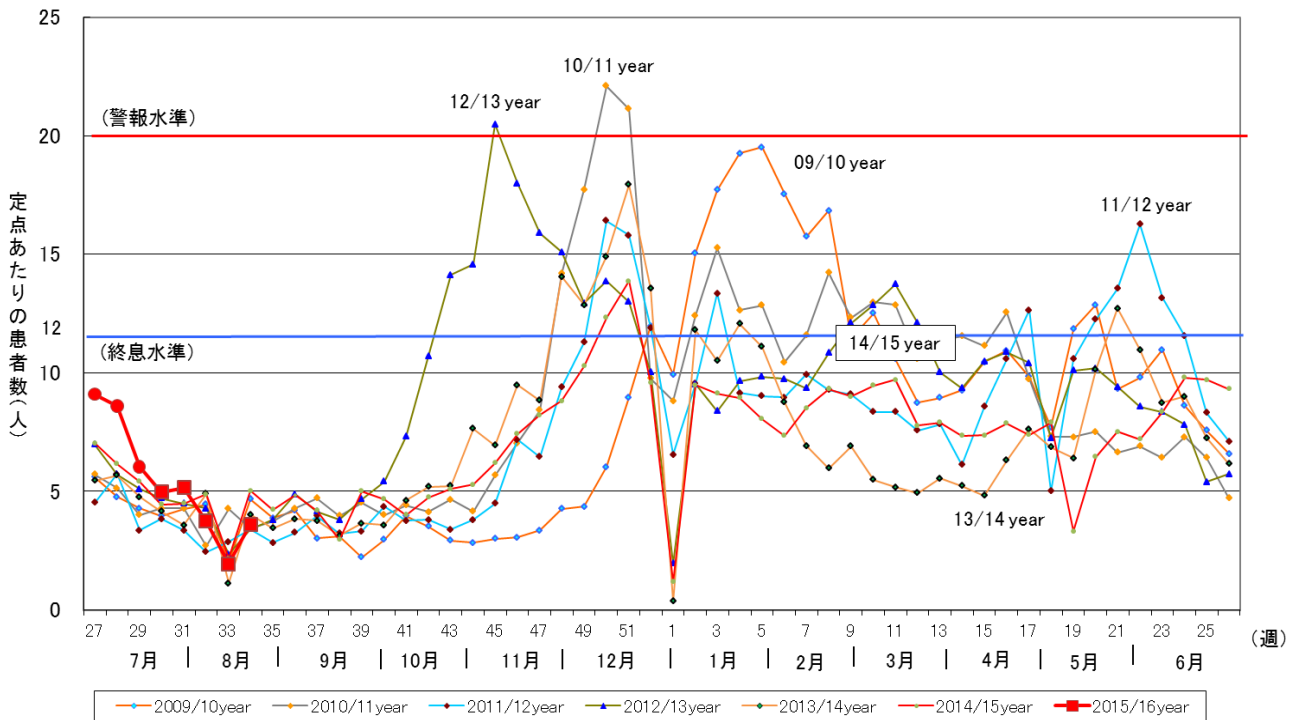
全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 破傷風)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	70代	2015年8月20日	2015年8月23日	2015年8月23日	/	臨床決定	開口障害、呼吸困難 (痙攣性)、筋肉のこわばり等	創傷感染	

神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
コクサッキーウイルスA6型	咽頭拭い液	垂水	1歳11か月男児(8/18採取、38.6℃、手足口病)、4月にも手足口病に罹患。

定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



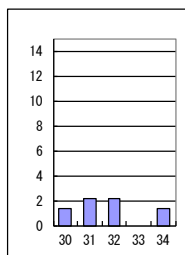
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 30 週 平成27年7月20日

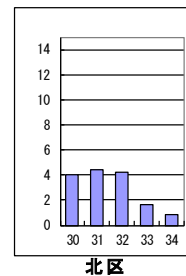
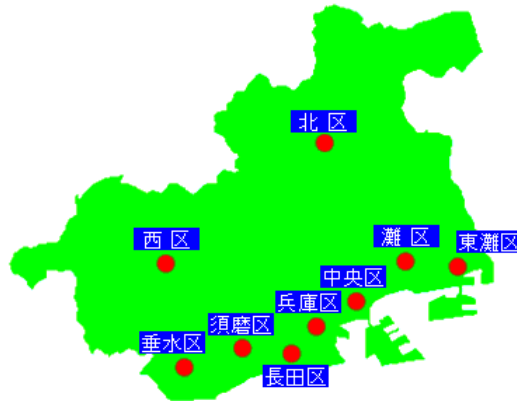
～

第 34 週 平成27年8月23日

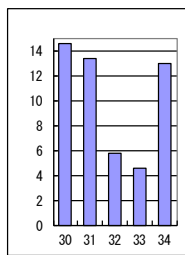
感染性胃腸炎



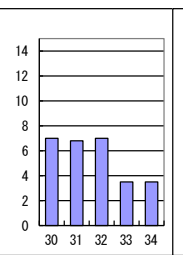
西区



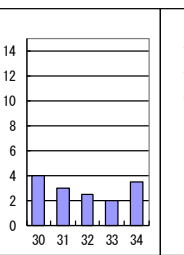
北区



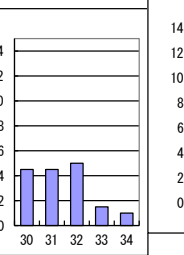
垂水区



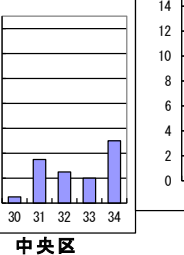
須磨区



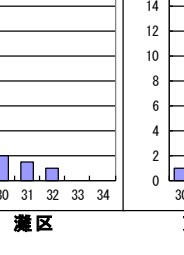
長田区



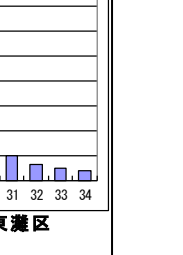
兵庫区



中央区



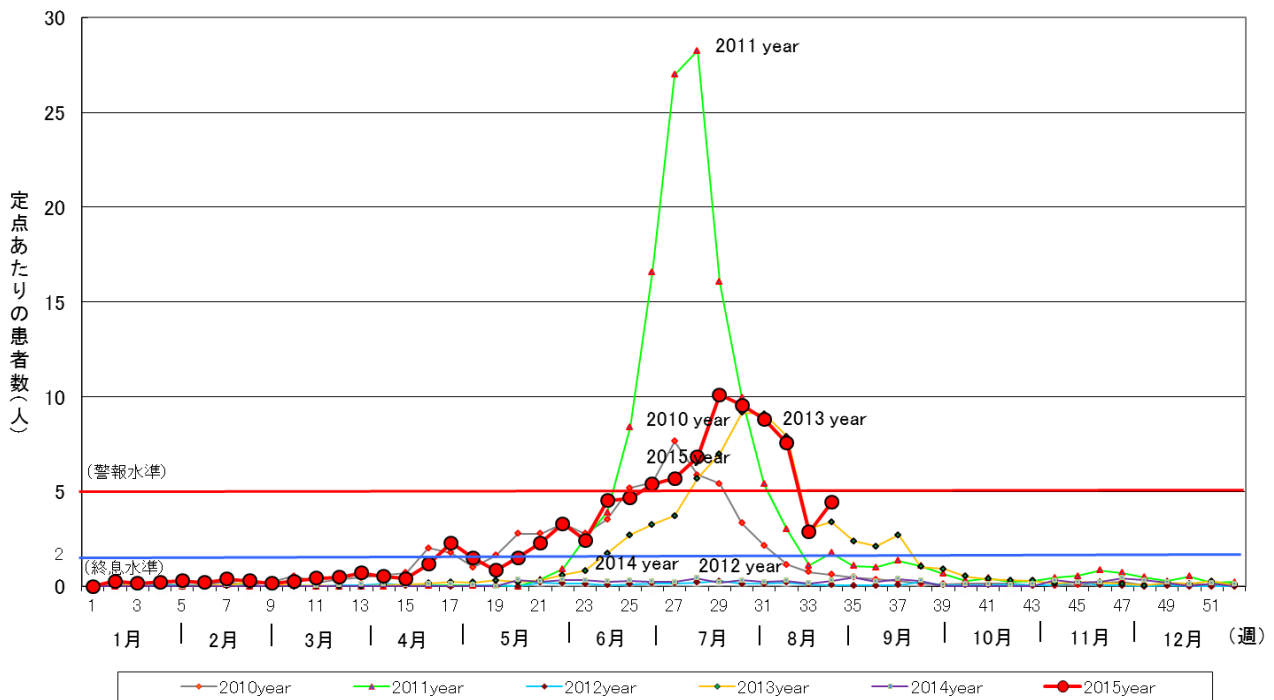
灘区



東灘区

※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継時的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

定点あたりの手足口病報告数



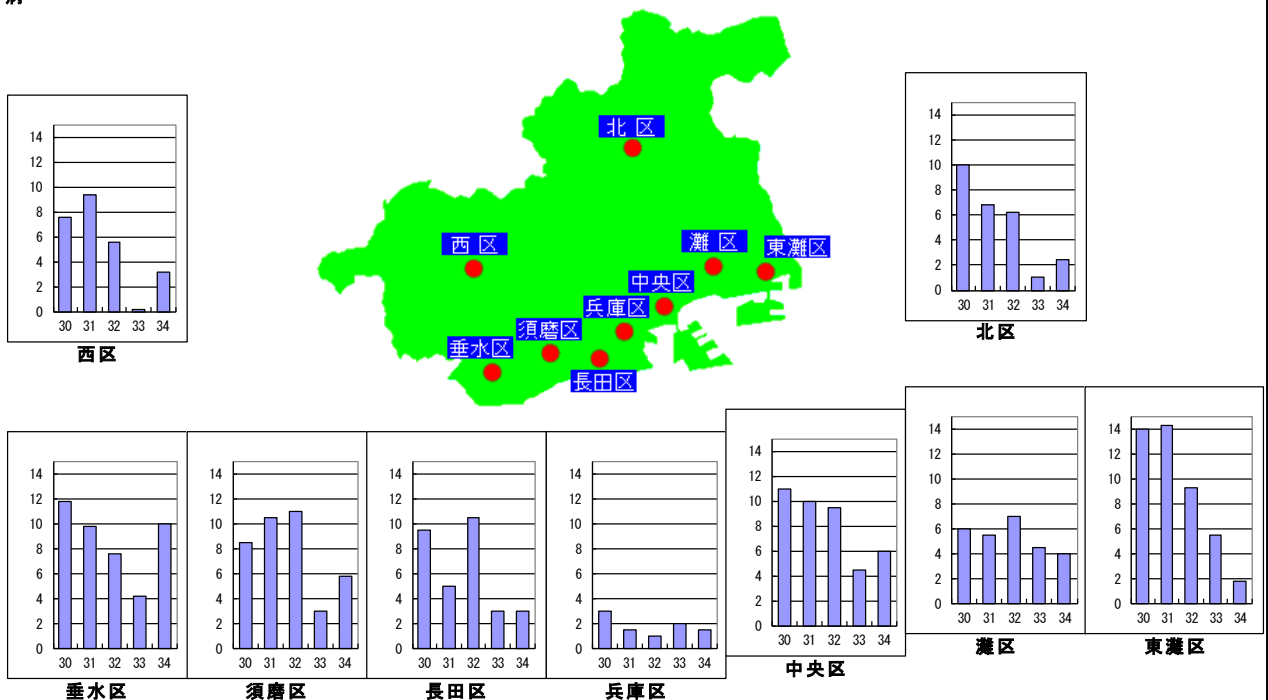
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 30 週 平成27年7月20日

～

第 34 週 平成27年8月23日

手足口病



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継時的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。